

標準応答スペクトルに係る対応状況について (2023年9月5日)

原子力エネルギー協議会
日本原燃株式会社
リサイクル燃料貯蔵株式会社

- 2022年4年12月5日「第3回震源を特定せず策定する地震動(スペクトル)の規制導入の経過措置に係る意見聴取会」において、標準応答スペクトルを用いた評価結果により既往の基準地震動Ssに新たな地震動を追加する施設について、**設置許可審査の進捗状況、新たな基準地震動を踏まえた詳細設計期間及び工事の発生有無等の見通し**をご説明した。
- 各施設の**設置許可審査の進捗**および**現時点における今後の見通し**については、適宜面談にてご報告することとしており、本日は、前回面談（2023年6月1日）以降の状況をご説明する。

2. 許可審査状況と後段規制への対応の見通し【伊方】

- **伊方発電所**の対応見通しは、以下の通り。
 - ✓ 現在、設置変更許可を取得し、設工認申請に向けて**詳細設計を進めているところ**。
 - ✓ **現時点において、工事の発生はないと判断**しており、仮に、耐震補強が必要となったとしても、既許可・既認可の範囲内で支持構造物の追設等が可能であると考えている。
- **前回報告（2023年6月1日）**からの進捗および対応見通しの変更点
 - ✓ 設工認申請に向けた**詳細設計については、工程通り進めており対応見通しの変更なし**。

年度		R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
伊方	特定せずBF	▼地震動概ね了承 (4/15) ▼補正 (2/20) ▼施設の基本設計方針概ね了承 (9/29) (設置許可審査)	▼許可 (5/24)	(詳細設計)	▽設工認申請	▽認可
		(設工認審査)				

2. 許可審査状況と後段規制への対応の見通し【川内・玄海】

- 川内及び玄海発電所の対応の見通しは、以下の通り。
 - ✓ 川内・玄海は、「特定せずSs」と「施設の基本設計」が概ね了承されて以降、設置変更許可処分を待たずに詳細設計に着手することで、許可後24カ月程度で詳細設計を完了させる計画である。
 - ✓ 特定せずSsに対する設備影響の見通しとしては、川内・玄海ともに、技術基準への適合性を確保するための工事（許認可手続きを伴わない補強工事）を行うことで対応可能な見通しであり、認可後2定検程度を想定している。

- 前回報告（2023年6月1日）からの進捗および対応見通しの変更点
 - ✓ 玄海については、2023年6月16日に、川内については、2023年7月28日に特定せずSsが概ね了承された。
 - ✓ 川内・玄海ともに、概ね了承された特定せずSsに対する対応見通しを上記のとおり見直した。
 - ✓ 現在は「施設の基本設計」及び「基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価」について、川内・玄海ともに審査いただいているところである。

年度		R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	~
玄海	特定せずBF	(設置許可審査)	補正(検討中) Ss概ね了承(6/16) ▼許可		(詳細設計)	設工認申請 (設工認審査) ※1	設工認申請 (設工認審査) ※1 認可 (工事又は使用前確認) ※2
川内	特定せずBF	(設置許可審査)	補正(検討中) Ss概ね了承(7/28) ▼許可		(詳細設計)	設工認申請 (設工認審査) ※1	設工認申請 (設工認審査) ※1 認可 (工事又は使用前確認) ※2

※1 川内・玄海について、それぞれ12カ月の審査期間を想定。ただし、並行審査を想定しており、先行プラントとの差異説明等により審査工程の短縮に努めることから、上図のような表記としている。

※2 技術基準への適合性を確保するための工事（許認可手続きを伴わない補強工事）を行うことで対応可能な見通しであり、認可後2定検程度を想定している。

2. 許可審査状況と後段規制への対応の見通し【日本原燃】

- 日本原燃（再処理施設、廃棄物管理施設、MOX燃料施設）の対応の見通しは、以下の通り。
 - ✓ 2022年4月に特定せずSsの概ね了承を得ている。
 - ✓ 2023年6月29日、8月2日に特定せずSsの補正を実施。新規規制基準の設工認における地盤・地震の審査状況を踏まえ、詳細設計に着手することを想定している。
 - ✓ 震源特定せずの設工認審査期間としては、最大で約1年と設定。
 - ✓ なお、震源特定せずSsは、許可済みのSsを一部周期で超える程度であり、許可済みのSsでの評価結果に包絡されるか、または包絡されなくても耐震裕度内に収まるものと考えており、現時点では**耐震補強工事は発生しない見込み**である。

- **前回報告（2023年6月1日）**からの進捗および対応見通しの変更点
 - ✓ 6月、8月に特定せずSsに係る補正を実施。
 - ✓ 設工認申請に向けた**詳細設計に係る対応見通しの変更なし**。

年度		R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8 (2026)
原燃 (再処理施設 廃棄物管理施設 MOX燃料施設)	特定せずBF	▼ Ss概ね了承 (事業許可審査)	▼ 補正 (2023年6月) ▼ 補正 (2023年8月) ▼ 許可	申請準備(2年) (詳細設計期間)	▼ 設工認申請 (設工認審査)(約1年)	▼ 認可
			(建物・構築物) (機器・配管系)			

2. 許可審査状況と後段規制への対応の見通し【東海第二】

- **東海第二発電所**の対応見通しは、以下の通り。
 - ✓ 2022年6月10日東海第二の**特定せずSs**が**審査会合にて概ね了承され、設工認申請のための詳細設計を行っている。**
 - ✓ 地盤安定性評価及びプラント側の審査を反映した補正を計画（補正日は検討中）している。
 - ✓ また、設工認申請手続きとしては、**新規制BFの設工認の変更認可申請**を行うことで考えている。
 - ✓ 新Ssは、許可済のSsに対して水平方向の長周期帯の一部で超える程度であり、許可済のSsでの評価結果に包絡されるか、または評価結果に包絡されなくても耐震裕度内に収まるものと考えており、**現時点では工事発生はないと想定**している。

- **前回報告（2023年6月1日）**からの進捗および対応見通しの変更点
 - ✓ 特重施設の取り入れ及び地震動審査の結果を反映した補正を6月23日に実施した。
 - ✓ 地盤安定性評価及びプラント側の審査を反映した補正を計画している。
 - ✓ 設工認申請に向けた**詳細設計については、対応見通しの変更なし。**

年度		R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
東海第二	特定せずBF	▼Ss概ね了承(6/10) (設置許可審査)	▼補正 (6/23) ▼補正 (検討中)	▼許可	
	新規制BF		(詳細設計)	▼設工認変更申請 (設工認審査)	▼認可
			(工事、使用前確認)		

2. 許可審査状況と後段規制への対応の見通し【RFS】

- RFSの対応の見通しは、以下の通り。
 - ✓ 2022年1月20日に事業許可を申請し、**2023年2月8日に許可を取得し、2023年6月22日に設工認の認可を取得した。**
 - ✓ **耐震評価結果によると、工事は発生せず、“新規制BF”の工事、使用前確認の完了を以って“特定せずBF”を完了する見通し。**

- **前回報告（2023年6月1日）からの進捗および対応見通しの変更点**
 - ✓ **2023年6月22日に設工認の認可を取得した。**
 - ✓ 耐震評価結果によると、**工事は発生しない。**
 - ✓ 今後の**対応見通しの変更なし。**

年度		R4(2022)	R5(2023)
RFS	特定せずBF	▼Ss概ね了承 (4/25) (事業許可審査) (7/22) ▼審議論点なし (9/20) ▼補正 (10/28) ▼補正 (12/2) ▼許可 (2/8)	
	新規制BF	(詳細設計)	(設工認審査) ▼補正 (6/8) ▼認可 (6/22) 使用前終了 ▼
		(工事、使用前確認)	

— 以上 —